



12/18 地域防災に貢献 総務大臣表彰



市連合自治会の副会長を務める坂上公三さかうえこうぞうさんが、「令和2年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、自治会などの代表者として、地域社会への顕著な功績があった人に贈られるものです。

坂上さんは、平成16年の豪雨災害を経験し、地域防災の必要性を痛感。地域でできる防災・減災活動に心血を注いできました。

受賞を受け、坂上さんは「地域の人たちの協力があってこそこの受賞。今後も新居浜のために尽力しながら、後継者の育成にも努めたい」と決意を新たにしました。

12/19 「報道と人権」 一人一人が考えて



市民文化センターで人権啓発イベント「2020ふれ愛フェスタ～ハート FULL 新居浜～」があり、平成6年に発生した松本サリン事件の被害者でありながら、一時犯人扱いされた河野義行さんが「報道と人権」をテーマに講演しました。

河野さんは事件の第一通報者。オウム真理教の犯行の関与が判明するまで、警察やマスコミから容疑者と見なされ、報道被害を受けました。

河野さんは、「情報の切り取られ方で、今日と明日の事実が異なってしまう。報道の自由と人権擁護との調和について、一人一人が考えてほしい」と訴えました。

12/23 被災した動物の救護へ協定締結



災害時、犬や猫などの被災した動物を速やかに救護するため、市と（公社）愛媛県獣医師会が「災害時の動物救護活動に関する協定」を締結しました。

東日本大震災を機に、被災した動物を救うための体制整備が全国的に進んでいます。今回の協定には、「災害により負傷した動物の応急処置に関すること」「被災動物の保護、収容及び健康管理に関すること」などが盛り込まれています。

同会の戒能豪かいのうたけし会長は「協定の締結がゴールではない。動物たちを救う術をより一層学んでいきたい」と力を込めました。

12/24 「全集中」で全国切符もぎ取る



市内を拠点に活動するフットサルチーム「FC miracle smile」が、JFA第26回全日本フットサル選手権大会四国大会（12/12・13、高知市）を制し、全国大会へ駒を進めました。メンバーが市役所を訪れ、喜びと意気込みを語りました。

前回の四国大会は、決勝でPK戦の末に惜敗。その悔しさをばねに、ハードな練習に励んできました。今年はコロナ禍でベストメンバーが揃わない中、一戦一戦「全集中」で挑んだそうです。

多田羅優たたらゆう代表は「チームの名を全国に知ってもらえるよう、結果を出したい」と意欲をみなぎらせました。全国大会は3月に開催予定です。